

## 1. 前文

### 経緯

- ・国際物流戦略チームは平成17年に全国に先駆けて産学官の連携の下に設置
- ・一開港化の実現、臨海部への最先端産業の企業立地促進等の成果

### 国際物流シンポジウム2010

- ・国際物流を取り巻く世界の潮流の把握
- ・先手を打っていくためのアプローチや取り組みの方向性

## 2. 国際物流戦略チームの活動の方向性

### (1) 国際物流の動向を踏まえた活動の必要性

#### ① 国際貿易の動向や国際物流の動向を踏まえた活動の必要性

- ・諸外国との関係(2国間のFTA締結、TPP参加の検討)
- ・アジア各国の著しい経済成長とその成長の我が国への取込み  
→産業界や企業・荷主、ユーザーからの要望・声の取込み  
→国際物流の状況や変化の兆しをいち早く察知するキャリアや  
フォワーダーの情報の積極的な活用

#### ② 物流拠点の動向を踏まえた活動の必要性

- ・新成長戦略や国土交通省成長戦略の策定  
→選択と集中の推進、整備・管理・運営のあり方の変革への対応、PPP  
(パブリック・プライベート・パートナーシップ)の活用

#### ③ 地域の戦略、方向を踏まえた活動の必要性

- ・国際戦略総合特区を活用した国際的な都市間競争に打ち勝つための  
関西の地域戦略の構築
- ・関西広域連合の発足  
→国際物流に地域戦略の視点をこれまで以上に重視していく必要性

### (2) 地球温暖化対策の動向を踏まえた活動の必要性

- ・ポスト京都議定書の模索
- ・グリーンベイ大阪湾(環境と成長の連鎖)の発展、深化の必要性  
→国際物流におけるCO2等環境対策へのシフト、CO2の見える化

### (3) 大規模地震対策の活動の必要性

- ・迫りくる東南海・南海地震、上町断層等直下型地震への備え  
→大阪湾地域のBCPの策定、実行体制の構築

## 3. 国際物流戦略チームの取り組むべき課題と具体的な取り組み(構成)

### (1) 国際物流の戦略的な強化の推進

#### 1) 総合的な物流機能強化に向けた戦略と取り組み

- ① 関西地域における総合的な国際物流戦略の策定
- ② ITを活用した効率的なSCMの構築
- ③ 阪神圏における港湾、空港、道路の広域的な経営に向けた枠組みの検討

#### 2) 国際コンテナ戦略港湾としての阪神港の機能強化

- ① 国際コンテナ戦略港湾・阪神港の目標達成に向けた支援
- ② 国際コンテナ戦略港湾を含めた大阪湾諸港のさらなる連携の推進
- ③ 日本海側のゲートウェイ機能強化策の検討、策定

#### 3) 国際航空物流関係

#### 4) 道路ネットワーク

### (2) CO2等環境対策

### (3) 大阪湾地域のBCP策定

## 4. 組織体制のあり方